

1 事業計画

平成30年(2019年)度は、豪雨や台風、地震等の自然災害が相次ぎ観光への影響が懸念されましたが、航空路線拡充やプロモーションにより順調に回復し、訪日外客数は初めて暦年で3,000万人を超えました。平成31年(2019年)度は、5月1日の天皇の即位の日に伴いゴールデンウィークが10連休となり、観光需要の拡大に期待が高まる状況となっています。そして9月にはラグビーワールドカップが開催され、国内外からの来訪者による観光消費の増大が見込まれます。

このような状況のなか、当財団では、平成32年に控えた財団設立30周年を記念する事業の一環としてウェブサイト・リニューアルに着手するほか、将来にわたって持続可能な団体運営を行う観点から働き方改革への対応を図ります。そして最終年度となる現在の経営戦略計画に基づく4つの重点項目と5つの重点取組方針により、名古屋の魅力の情報発信、知名度の向上、誘客の拡大を図ります。

▼ 重点項目

- 1 国際コンベンション、インセンティブ旅行等誘致推進によるMICE誘致の強化
- 2 シビックプライドの醸成を意識した名古屋の魅力の発信
- 3 名古屋城本丸御殿を核とした誘客
- 4 名古屋全体の観光案内機能の充実強化

▼ 重点取組方針

(1) グローバルMICEの推進

- ① ステークホルダーとの連携によるMICEの誘致推進
- ② 海外マーケティングの推進
- ③ MICE受入支援の充実

(2) 国内外への情報発信力の強化

- ① スマートフォンサイトの活用を意識したウェブサイトの全面リニューアル
- ② 映画、ドラマ、アニメ等を活用した新たな名古屋の魅力発信
- ③ 飲食店等民間事業者と連携した「なごやめし」の国内外への普及促進

(3) 効果的な誘客プロモーションと着地型観光の魅力発信

- ① 名古屋城本丸御殿PR事業の実施
- ② 着地型観光を始めとした観光コンテンツの開発と発信
- ③ 交通網、祭り、物産展を活用したプロモーションの実施

(4) アジア等からの誘客と受入れの充実

- ① 海外観光展等を活用した魅力発信事業
- ② アジア地域(台湾・韓国及び東南アジア)をターゲットとしたPR事業
- ③ 観光団体・賛助会員企業と連携したプロモーション事業の推進

(5) 国内外からの来訪者へのおもてなし

- ① 観光案内所の案内・接客能力の向上
- ② 観光ボランティアとの連携によるおもてなし充実
- ③ イベントを核とした情報発信及び誘客

公益目的事業の実施

I コンベンション事業

【 経営戦略計画における成果指標及び目標 】

成果指標	31年 目標値
国際会議開催件数	184 件

1 独自の誘致活動

(1) 大学、学会、関係団体からの情報収集

① コンベンション主催関係者からの情報収集と信頼関係の構築

地元大学・研究機関等関係者、首都圏コンベンション主催関係者を個別訪問し、コンベンション誘致・開催情報の収集を行うとともに、信頼関係の構築に努めます。

- (ア) 国際会議開催意向調査の実施
- (イ) 地元大学・研究機関関係者等への個別訪問の実施
- (ウ) 首都圏のコンベンション主催関係者への個別訪問の実施
- (エ) コンベンション主催者等の視察受入れ

② 国内及び国際コンベンション関係団体からの情報収集

- (ア) 日本政府観光局（J N T O）及び日本コンGRESS・コンベンションビューロー（J C C B）からコンベンション関係情報を収集します。
- (イ) 国際会議に関するデータを所有する国際会議協会（I C C A）に引き続き加盟し、コンベンション誘致情報の収集・分析を行います。
- (ウ) 中部圏におけるコンベンション関係団体との情報交換を行う中部コンベンション連絡協議会に参画します。

(2) インセンティブ旅行を取り扱う旅行社や海外企業等からの情報収集

インセンティブ旅行誘致推進のため、地元、首都圏等の旅行社や海外企業のインセンティブ旅行の企画情報の収集に努めます。

(3) 見本市・展示会主催関係者からの情報収集と信頼関係の構築

地元・首都圏等の見本市・展示会主催関係企業・団体を個別訪問し、見本市・展示会の誘致・開催情報の収集を行うとともに、信頼関係の構築に努めます。

2 連携による誘致活動

(1) ステークホルダーとの連携によるMICE誘致の推進

地元ステークホルダーとの連携組織である「愛知・名古屋M I C E 推進協議会」の事業やM I C E 部会の開催による連携強化などにより、地域を挙げたM I C E 誘致体制の強化を図

るとともに、名古屋大学等との連携協定に基づく事業など、コンベンション誘致を積極的に進めていくための支援体制を強化するなど、MICEの誘致を推進します。

①MICE業界との連携による支援体制の確立

(ア)「愛知・名古屋MICE推進協議会」による事業の推進

愛知県、名古屋市、地元経済界などと共同で立ち上げた「愛知・名古屋MICE推進協議会」による、海外プロモーションの実施、国内外MICE見本市への出展、MICE説明会・MICEセミナーの開催、主要国際会議へのアトラクション提供、海外専門誌へのPR記事掲載などにより、MICE誘致を推進します。

(イ)「MICE部会」を活用した市内MICE推進体制の確立

MICEステークホルダーとしての会員企業との連携強化を図るため、専門部会「MICE部会」を設置・活用し、市内のMICE推進体制を確立します。

(ウ)テクニカルビジット（産業視察）メニューの開発

MICE訪問者からのニーズが高く、当地域の強みでもある「産業」視察をメニュー化するための調査を実施します。

②市内大学研究者などとのネットワーク強化

名古屋大学をはじめ市内大学との連携・協力関係を築き、国際会議開催に関する支援施策を大学研究者に周知する仕組みを構築するとともに、ユニークメニューなど名古屋ならではの魅力あるMICEの開催環境を整え、活用を図っていく活動を通じて、様々なステークホルダーとのネットワークを強化します。

(2)海外マーケティングの推進

①海外見本市におけるプロモーション

「IMEX2019」に参加し、多数の海外MICEキーパーソンに、直接、開催地名古屋の魅力をPRするとともに、個別商談を通じてMICEの誘致を図ります。

期 日	5月21日～23日（予定）
会 場	ドイツ・フランクフルト国際見本市会場

②セミナー・商談会への参加

海外で開催のセミナー・商談会に参加し、多数の海外キーパーソンに名古屋の魅力をPRするとともに、個別の商談を通じてMICE誘致を推進します。

③東京との都市間連携によるFAM TRIPの実施

東京都および（公財）東京観光財団と愛知・名古屋MICE推進協議会との連携協定に基づくFAM TRIPを実施し、名古屋の魅力をPRするとともに、個別の商談を通じてMICE誘致を推進します。

(3)コンベンション主催者等への誘致活動

①コンベンション開催キーパーソンへのセールス活動

地元におけるコンベンション開催キーパーソンとなる大学研究者などに、支援メニューと名古屋の開催環境や魅力などを紹介し、開催に向けた動機付けを行うなど、セールス活動を実施します。

②コンベンション主催者等の視察受入

誘致対象となるコンベンション主催者等が視察を希望する場合に、会場施設やホテル、観光施設等の視察を支援するとともに、名古屋ならではの魅力をPRし、誘致活動を強力に進めます。

③国内トレードショー・商談会等への参画

日本コンGRESS・コンベンションビューロー主催の「第29回国際MICEエキスポ」へ出展参加し、国内外のコンベンション主催者等との商談を通じて、情報収集やコンベンションの誘致を推進します。

期 日	平成32年2月末頃（予定）
会 場	未定

3 開催支援

円滑な開催に向けた事前準備の相談、独自の支援メニューによる主催者の負担軽減や、名古屋ならではのおもてなしメニューなどにより、国際会議などの開催支援を行います。

(1)国際会議開催助成金の交付

名古屋市内で開催される一定規模以上の国際会議に対して開催助成金を交付します。

(2)コンベンション開催準備資金の貸付

名古屋で開催される一定規模以上のコンベンションに対して、3年前から開催準備資金を無利子で貸与します。

(3)第30回日本医学会総会2019中部への協力・支援

参加者及び一般市民向けに歓迎広告（JR名古屋駅、名古屋国際会議場）の掲出を行います。

(4)G20愛知・名古屋外務大臣会合推進協議会への参画

G20愛知・名古屋外務大臣会合推進協議会に参画します。

(5) 会議開催時における支援

項 目	内 容
コンベンションボランティア なごやの派遣	名古屋市内で開催のコンベンションの運営を支援するため、ボランティアを派遣します。
コンベンションコンシェルジュ デスクの設置	名古屋市内で開催の一定規模以上の国際コンベンションに対して、参加者への観光・交通案内等を行うコンシェルジュデスクを設置します。
観光通訳ガイドの派遣	国際会議のエクスカージョンのバスツアーに観光通訳ガイドを派遣し、海外参加者に観光案内を行います。
観光案内パンフレットの提供	観光案内パンフレットや観光文化施設優待割引券を作成し、コンベンション参加者に提供します。
デジタルサイネージによる情報 提供	名古屋市内で開催の一定規模以上のコンベンションに対して、不特定多数の参加者に名古屋の魅力や観光・交通案内情報等を提供するため、デジタルサイネージを設置します。

(6) インセンティブ旅行等の開催支援

海外からの大型インセンティブ旅行等開催助成や、研修・視察等誘致推進助成を実施し、ビジネス交流の活性化を図ります。

4 名古屋国際会議場利用者に向けたコンベンションの誘致開催支援等

当財団が平成26年4月からコンソーシアムによる指定管理者として運營業務に参画している名古屋国際会議場において、学・協会等が主催するコンベンションの開催を支援します。

II 観光事業

【 経営戦略計画における成果指標及び目標 】

成 果 指 標	3 1 年 度 目 標 値
ウェブサイト総ページビュー数	1, 5 0 0 万件

1 観光資源の宣伝

名古屋の観光及びコンベンションに関する最新の情報や財団の活動状況等を国内外に積極的に発信し、戦略的な情報発信に努めます。

(1) ホームページの全面リニューアル及びセキュリティ対策の充実

拡大が続く観光需要に対応し、名古屋がより多くの観光客を集めるためには、スマートフォン対応サイトでの迅速かつ多様な情報提供と、そのために、システム老朽化によりセキュリティとアクセスの低下が生じている現行サイトに代えて、スマートフォンなど端末の進化に対応したウェブサイトを構築します。

特に、名古屋の魅力を具体的に伝えるために、レスポンシブデザインを導入し、ユーザーの興味を引くインパクトある画像、名古屋らしいデザインを作成するとともに、最新の動画を掲載し、名古屋の魅力をより広く訴えるものとします。

また、外国語サイトにつきましては、各国のニーズに合わせた多言語によるビジュアルやコンテンツを作成します。さらに、即時翻訳による多言語版への展開の速効性と情報の充実化を図ります。

(2) 現行ホームページの更新頻度の向上、SNS等の活用による情報発信の強化

現行のホームページ（日本語・英語・繁体字・簡体字・韓国語・タイ語）については、PC及びスマートフォンサイトに、旬の名古屋を伝える特集記事や新規コンテンツを掲載し、名古屋の魅力発信に努めます。

また、Facebook や Twitter といった SNS を活用した観光情報の即時発信にも取り組み、名古屋の観光、イベント、コンベンション情報を提供します。

(3) なごやめしの普及促進

「なごやめし普及促進協議会」の事務局を運営し、「当協議会と飲食店等民間事業者とのネットワークの強化」を基本方針として、今までより一層、国内外へのなごやめしの普及促進を図ってまいります。

- ・「ラグビー世界大会」の訪日客へのなごやめしPR事業
- ・「なごやめし応援大使」の山崎武司氏の活用によるなごやめしPR事業
- ・民間事業者との連携による国内外におけるイベント等へのブース出展
- ・なごやめし飲食店マップ、PRグッズ等の作成

(4)観光客誘致用パンフレット等の作成

いりゃーせ名古屋（国内誘致用）	20,000部
誘致パンフレット（中国語版）	5,000部

(5)雑誌等への効果的な広告掲載

雑誌等効果的な媒体に広告掲載するとともに、旬な観光・イベントなどについて情報提供を行います。

(6)県人会組織を活用したPR

- ・全国県人会東海地区連絡協議会総会及び同協議会に加盟する38県人会の協力で、各県人会機関誌における名古屋の観光PR、各県人会の総会時における観光宣伝など行います。
- ・ふるさと全国県人会まつり実行委員会に参画し、東海地区にある道県人会等を中心に、郷土芸能の実演、特産品の販売、観光PRなどを通し、ふるさとの魅力を紹介する「ふるさと全国県人会まつり」に協力します。

期 日	9月7日～8日（予定）
会 場	久屋大通公園・エンゼル広場（予定）

(7)キラッ都なごやメイツの派遣によるPR

各種イベント、MICE開催時において、キラッ都なごやメイツを司会等に派遣します。

(8)東海北陸ブロック物産観光連絡協議会

年6回、東京で日本旅行記者クラブ会員等に名古屋の物産・観光に関する情報提供を行います。

2 観光客の誘致

【国内観光】

【経営戦略計画における成果指標及び目標】

成 果 指 標	31年度 目標値
入込観光客数	4,700 万人

(1)物産展等と連携した観光PR事業の実施

歴史観光や都市観光の魅力をPRするため、行政機関や航空会社・賛助会員企業等と連携し、県外で開催される観光物産展やイベント事業に参加するとともにマスメディアへのセールス活動を行います。また、名古屋おもてなし武将隊や名古屋観光特使等を活用した観光P

Rステージを展開します。

①首都圏・関西圏での観光プロモーション(市長・知事のトップセールスを含む)

東京(女子旅EXPO出展を含む)2回及び関西での観光PRを行います。

※縣市連携事業

②都市での観光プロモーション

札幌(イオン連携)・岡山(百貨店連携)・福岡で観光プロモーションを行います。

※名古屋観光プロモーション実行委員会事業

(2)名古屋城本丸御殿の魅力PR事業

①本丸御殿にかかる大規模PR事業

名古屋城本丸御殿の魅力为首都圏を始め全国に向けPRするため、ポスター等を作成し、公共スペース等に広告出稿します。

②メディアを活用した観光PR事業

著名な旅行雑誌や女性誌等マスメディアを招聘するなど、名古屋の魅力を普及します。

③本丸御殿観光PRプロモーション

仙台、浜松、東京などで大型スーパーや百貨店などの民間事業者と連携した観光プロモーションを実施します。

④秋の観光キャンペーン

名古屋の秋の観光魅力を全国各地に伝えるため、ポスターやリーフレットを作成し、首都圏始め全国の空港や旅行会社等に掲示したり観光プロモーションで配布することにより、名古屋のイメージアップと誘客を図ります。

⑤愛知県大型観光キャンペーン

愛知DCが開催する商談会(東京、大阪、福岡)に参加し、旅行会社に対し旅行商品造成を働きかけ、本丸御殿をはじめとした名古屋への誘客を図ります。また「ジャパン・ハイライツ・トラベル」事業に参画し、クーポン付きまち歩きガイドマップ(JR東海発行)事業に協力します。

(3)歴史観光情報発信事業

「桶狭間の戦いの再現劇」を実施するなど、「信長攻路 桶狭間の戦い人生大逆転街道」を観光素材として観光客を誘致します。

(4)ニューツーリズムの推進

①クルーズツーリズムの推進

大型豪華客船の名古屋港への寄港を捉え、名古屋市内への観光客誘致を働きかけます。

- ・外国客船の受入時のおもてなしとして、インフォメーションデスクの設置
- ・客船運営会社への観光情報提供、誘致セールス活動の実施
- ・「名古屋港外航クルーズ船誘致促進会議」（平成26年2月設立）への参画

②スポーツツーリズムの推進

スポーツ観戦を活用した誘客促進事業として、名古屋グランパスエイトと連携し、試合会場にて観光PR活動を行います。

(5) やっとかめ文化祭「まち歩き」等の実施

①「まち歩き」事業

名古屋市内に残る歴史的建造物や文化資産を活用して、名古屋独自の歴史や文化を再発見する「やっとかめ文化祭」事業のうち、「まち歩き」事業を実施します。

まちの魅力を伝える案内人のガイドにより、着地型旅行コンテンツとして活用できることを目指して約40コースを実施します。

②広報宣伝活動

やっとかめ文化祭を広くPRするため、首都圏等の旅行会社や雑誌メディア等を訪問し、旅行パンフレットや誌面掲載を働きかけるとともに、特別企画事業（例：和菓子を活用した事業）を実施します。

(6) 教育旅行等の誘致の推進

①修学旅行優待パスポートの配布等

観光施設の入場料等を割引する「修学旅行・体験学習優待割引券」を名古屋に宿泊した修学旅行生に配布するとともに、遠足や校外学習用としても旅行会社・学校に配布します。

②修学旅行誘致促進事業によるセールス

修学旅行誘致を図るため、京都・大阪地域の小学校や旅行会社（教育旅行担当者等）にセールス活動を行うとともに、遠隔地の学校（工業高校・中学校など）や旅行会社に対し「あいち教育旅行誘致促進協議会」メンバーの一員としてセールスを行います。

(7) 着地型観光及び産業観光等の推進

旅行会社2社による「産業観光バス」事業に対して企画協力するとともに、バスツアー等を広く宣伝することにより利用促進に努めます。

また、市科学館プラネタリウム観覧など着地型観光の充実に向けた取り組みを行います。

(8) 観光施設部会の活動

① 観光施設部会の開催

市内観光施設と観光情報等の共有化を図るため観光施設部会を開催します。

② 観光施設の見学研修会

観光施設の内容や魅力を案内するホテルの従事者に対して、観光施設の見学会などの研修会を開催します。

③ 旅行商品造成のためのセールス活動

名古屋の旅行商品（修学旅行を含む）を扱っている旅行会社のある地域等を対象に、観光施設と連携したセールス活動を行うことにより名古屋地域への誘客を図ります。

【 国際観光 】

【 経営戦略計画における成果指標及び目標 】

成果指標	31年度 目標値
外国人市内宿泊者数	180 万人

(1) 海外プロモーション事業

現地の旅行会社等への訪問セールスや旅行博に参加し、名古屋地域への誘客を促進します。

※対象国（予定）：台湾、韓国、香港、タイ、ベトナム、インドネシア、フィリピン

事項	期日	内容	連携先等
台湾教育旅行現地説明会への参加（JNTO 主催）	6月	愛知・滋賀との連携（協議会）で参加、台湾教育関係者と面談（約30校）	愛知県観光協会等
タイ旅行社セールス事業	6月	犬山市観光協会等と連携し、旅行会社へのセールスコールを実施	犬山市観光協会等
韓国旅行社セールス事業	6月	ソウルで開催される旅行博に併せて、商談会・旅行会社へのセールスコールを実施	会員企業等
タイ国際旅行博出展及びセールス事業	8月又は1月	タイ旅行業協会（TTAA）主催の旅行博に出展し、名古屋の魅力発信を実施	会員企業等
釜山国際旅行博出展及びセールス事業	9月	釜山広域市観光協会主催の旅行博に出展し、名古屋の魅力発信を実施	名古屋市 会員企業等
ベトナム国際旅行博出展及びセールス事業	9月	ホーチミンで開催される国際旅行博に出展し、名古屋の魅力発信を実施	名古屋市 会員企業等
台湾台中国際旅展出展及びセールス事業	10月又は11月	台中市で開催される国際旅行博へ出展し、名古屋の魅力発信を実施	名古屋市 会員企業等

タイ FIT フェア出展及びセールス事業	11月	犬山市観光協会と連携し、JNTO 主催の旅行博に出展。併せて旅行会社へのセールススクールを実施	犬山市観光協会等
フィリピン TTE 出展及び旅行社セールス事業	2月	旅行商品即売型の旅行博に参加し、地域PRと商品販売支援を実施	名古屋市 会員企業
台湾国際イベントへの出展事業	2月	台湾台中市で開催される「2020台湾ランタンフェスティバル」への出展	名古屋市

(2) 広域団体・周辺地域等との連携による招請・受入

中部国際空港利用促進協議会・東海地区外国人観光客誘致促進協議会・昇龍道プロジェクト推進協議会等の広域団体や愛知・岐阜・三重・長野等の周辺地域と連携して、アジアを中心とする各国のメディアや旅行社・ブLOGGER・教育関係者等を受入れ、名古屋地域の魅力を広く情報発信します。

※具体的な取組み予定

取 組 内 容	実 施 団 体
就航エアライン連携での招請・受入	中部国際空港・航空会社・中部運輸局等
東海エリアのアクティビティPR事業	東海地区外国人観光客誘致促進協議会

(3) 財団独自の各種マッチング・アテンドの充実

名古屋の産業や都市機能に関わる各国の研修視察団（製造業・医療・介護・防災・科学技術・学校経営等）を受入れ、マッチングやアテンドによる名古屋地域の様々な魅力の体感を通して、観光を伴う更なる誘客に繋げていきます。

(4) 外国人や海外旅行社等への情報提供

ショッピング&グルメガイドマップの作成

名古屋におけるショッピングとグルメに特化したガイドマップを中部国際空港と連携して作成し、観光案内所や国際観光展等で配布します。

※発行部数：185,000部（英語：50,000部、繁体字：43,000部、簡体字：44,000部、韓国語：27,000部、タイ語21,000部）

(5) 教育旅行の誘致・受入

台湾市場の訪日教育旅行は6～7日間の広域周遊型が多いため、現在連携事業を行っている愛知県観光協会・びわこビジターズビューローと引き続き協働で現地説明会への参加やセールススクールを行います。訪日教育旅行の件数が多い韓国市場に対しては、訪日実績のある現地旅行社との関係を更に強化し、引き続き海外プロモーションの機会を利用して働きかけます。

また、教育旅行で重要となる学校同志の交流機会を確保するため、名古屋市教育委員会と連携し名古屋市立の中学、高校をはじめ市内の国際交流に積極的な学校との良好な関係を維

持し、交流現場へのアテンドを行い、教育旅行や学校交流の促進に繋がります。

特に従来実績のなかった名古屋市立中学校での学校交流を少しでも実績につなげられるように、働きかけていく予定です。

(6)インバウンド部会の運営

名古屋地域で開催される商談会や海外プロモーション事業の案内、また、時宜に適した講演会の実施など、インバウンド事業の取組みを様々な業種の賛助会員へ情報提供するとともに、異業種間の関係構築を推進し、連携体制の強化を図ります。

(7)トラベルマートへの参加

海外バイヤーが集結するマッチング方式の商談会に参加し、名古屋地域の持つ魅力を伝え旅行商品の造成を働きかけます。

3 観光客のおもてなし

(1)観光ボランティア活動の推進

①なごや観光ルートバスガイドボランティアの育成

ボランティアの方に「なごや観光ルートバス・メーグル」に乗車していただき、名古屋の観光名所や町並みなどの案内を行います。

また、名古屋観光案内ボランティアとの合同研修として、体験ツアーを行います。

登録者数	81名
活動場所	メーグル車内
活動日	土曜日11便、日休日7便
定例会	年4回（6月9日、9月8日、12月8日、3月8日予定）

②観光ボランティア団体との連携・支援

観光案内所を観光ボランティア団体等の情報発信の拠点として活用することにより、地域の隠れた観光魅力を発信します。

(ア) ホームページによる各団体の紹介

名古屋城観光ガイドボランティアを始め29団体のボランティア団体の紹介を行います。

(イ) 情報交換会の開催

観光講座と意見交換会を行います。（平成32年2月開催予定）

(2)観光客の受入用パンフレット等の提供

観光客の案内に資する地図・パンフレット等を作成し、観光客や観光施設等に配布します。

名称	発行部数	内容
キラッ都ナゴヤ	30,000部/月	観光施設案内、毎月の祭り、イベントを掲載

ライブマップ 名古屋	日本語 : 400,000 部	名古屋の観光マップ 観光名所、宿泊施設、土産等を掲載
NAGOYA NAVI	英語 : 150,000 部 簡体字 : 30,000 部 繁体字 : 30,000 部 ハングル : 30,000 部	名古屋の観光マップ (外国語) 観光名所、宿泊施設等を掲載

(3) なごや観光ルートバス「メーグル」の利用促進

市内の観光施設を巡る、なごや観光ルートバス「メーグル」の利用促進を図るため、パンフレットを作成し、旅行会社、観光関係機関やホテル等に配布するとともに、ホームページを運営し、広報宣伝を行います。

(4) 電話通訳サービス等による受入環境の充実

7 言語 (英語・中国語・韓国語・スペイン語・ポルトガル語・タイとベトナム語 (10 時～18 時)) に 24 時間 365 日対応できる電話通訳サービス (31 年 3 月末現在 55 施設利用) を拡充するとともに、Wi-Fi 等ソフト整備の進展のため市に協力して事業を実施します。

4 フィルム・コミッション事業の推進

(1) ロケーションの支援

名古屋における映画・テレビドラマなどのロケーション撮影の窓口として、フィルム・コミッション「なごや・ロケーション・ナビ」を設置し、情報提供・各種支援、また作品の誘致を行います。

(2) 国内のフィルムコミッションとの連携

- ・東海地域フィルムコミッション実務担当者会議の運営
- ・JFC (ジャパンフィルムコミッション) への加盟
- ・愛知県フィルムコミッション協議会への参画

(3) ロケ地マップの作成

名古屋市内で撮影された映画等のロケ地を紹介したパンフレットを作成し、観光客や市民へPRします。

(4) 上映会の実施

市民向けに、なごや・ロケーション・ナビで支援を行った名古屋がロケ地になった作品を紹介・上映します。

(5)多言語版アニメマップの作成

昨年度に作成しました名古屋が舞台となったアニメ作品のマップの多言語版を作成します。

(6)愛知県と連携したFCパネル展の実施

愛知県フィルムコミッション協議会と連携し、首都圏、関西圏等でFCパネル展を実施します。

Ⅲ イベント事業

1 イベントの開催

事業名	説明	
世界コスプレサミット 2019	内容	国際的に最も発信力があり、海外から高く評価されている日本の漫画やアニメの文化を国内外に発信する。
	開催時期	7月27日～8月4日 ※チャンピオンシップ8月4日
	会場	オアシス21、愛知県芸術文化センター大ホール、大須商店街 等
	主催	世界コスプレサミット実行委員会
名古屋まつり 会場行事	内容	名古屋まつりの開催に合わせて、久屋大通公園会場において、ステージやブース出展による盛り上げを図る。
	開催時期	10月19日～20日
	会場	久屋大通公園一帯
	主催	名古屋まつり協進会
名古屋城を核とした 魅力向上推進事業 「ロゲイニング in なごや」	内容	名古屋市が位置づける「歴史・観光魅力軸」エリアを、ロゲイニングの手法を用いて回遊性を高め効果的にPRする。
	開催時期	秋
	会場	名古屋城～有松・桶狭間周辺
	主催	名古屋観光コンベンションビューロー
旅まつり名古屋 2020	内容	国内外の観光関係者がブース出展し、観光情報の提供や特産品等を展示販売する。 また、ステージでの郷土芸能の紹介など「旅の楽しさ」を情報発信するイベントを行う。
	開催時期	2020年3月14日～15日
	会場	久屋大通公園（エディオン久屋広場・エンゼル広場）
	主催	旅まつり名古屋実行委員会

2 イベントへの支援

名古屋市内で開催される大規模イベントに対し、開催経費の一部を助成することにより、名古屋市への観光客誘致を図るとともに、名古屋市のイメージアップ、産業の活性化と内外の人的交流等の促進を図ります。

IV 観光案内所の管理・運営

【 経営戦略計画における成果指標及び目標 】

成果指標	31年度 目標値
観光案内所への来訪者数	86万人

1 観光案内所(金山、名古屋駅、オアシス21iセンター)の運営

訪れた観光客に対して、名古屋及びその周辺地域の観光情報の提供などの観光案内を行います。特に近年増加している外国人来訪者に対して、多言語対応の強化、全国の観光や交通アクセスの情報提供を行います。

2 ボランティアによるきめ細かな観光情報の提供

3か所の観光案内所において、職員とともに、交通や観光の案内を行い、観光客等の来訪者に名古屋の魅力を伝えます。

登録者数	23名(平成31年3月現在)
活動場所	名古屋駅観光案内所 金山観光案内所 オアシス21iセンター
活動日	名古屋駅…土曜日(午後)・日曜日・休日(午前) 金山観光案内所…月曜日・木曜日・金曜日・土曜日・日曜日(午前) オアシス21iセンター…土曜日(午後)

3 名古屋国際会議場での「OCTET(オクテット)」を活用した観光推進

年間約80万人の来場者がある名古屋国際会議場において、平成27年2月にリニューアルした Nagoya Information Station「OCTET」を活用して、名古屋の観光DVDの放映、名古屋及びその周辺の観光施設等のパンフレットを配架することにより、名古屋観光の推進を図ります。

4 まちかど観光案内所の運営

民間事業者等の協力を得て、市内の観光マップの提供、周辺の観光・交通案内を行う「なごやまちかど観光案内所」を運営するとともに、案内拠点を拡大します。

平成31年3月現在 (16カ所)	コメ兵、なごのや、名古屋栄三越、名古屋国際会議場、 港まちポットラックビル、若宮パーク、名古屋大学博物館 等
---------------------	---

収益事業等の実施

I 案内所観光宣伝物品販売事業

1 金山観光案内所、オアシス21iセンターでの販売

観光案内所を訪れる観光客及び市民の利便のため、名古屋グッズ、観光絵はがき、一日乗車券等その他物品を販売します。

主 な 販 売 物
一日乗車券、ドニチエコきっぷ、メーグル1 day チケット等の交通局乗車券、名古屋観光絵はがき、名古屋市美術館・博物館等の入場券、名古屋グッズ 等

II 会員サービス事業

【 経営戦略計画における成果指標及び目標 】

成 果 指 標	31年度 目標値
賛助会員数	550 会員

賛助会員を獲得するため、組織全体で会員の増強に努めます。また、日頃から会員サービスに関する情報収集を行うなど、会員サービス事業の充実と賛助会員の維持・拡大に取り組みます。

1 賛助会員のつどいの開催

事 項	内 容
講演会及び交流会	講演会及び情報交換会を開催し、賛助会員相互の新たな交流の場を提供します。
永年勤続優良従業員表彰	賛助会員（正会員）の企業・団体に15年以上勤務する優秀な従業員を表彰し、観光事業及びコンベンション振興事業の健全な発展及び観光客への接遇向上を図ります。
感謝状贈呈式	年度内に新規の会員様を3企業・団体以上ご入会させていただいた会員様に感謝状を贈呈し会員数増加を図ります。

2 名古屋観光事業説明会の開催

当財団の賛助会員に対して事業説明会を開催し、会員間の相互交流とビジネスチャンスを創出する機会として、「観光・MICE」をキーワードに、情報発信・交流の場を提供します。

3 チラシ同封サービス、封筒広告掲載サービスの実施

(1) チラシ同封サービス

賛助会員企業・団体のPR、チラシ等を当財団が行う毎月の情報提供サービスの中に同封するサービスを実施します。

(2)角型2号封筒への広告掲載サービス

当財団で使用する角型2号封筒に賛助会員企業・団体の広告を掲載しPRする場を提供します。

4 情報提供サービス

毎月、当財団が作成する各種印刷物、賛助会員からのお知らせ等を送付します。

5 正会員専用サービス

正会員のみ ID とパスワードを付与し、会員専用ページを閲覧できるサービスを実施します。また、当財団ホームページに正会員の facebook を一覧表示するサービスを実施します。